

講義コード	
授業科目名	学校経営学演習
講義題目	
授業科目区分	教育学系
開講年度	2012
開講学期	後期
曜日時限	火4
必修選択	選択
単位数	2
担当教員	八尾坂 修
対象学部等	教育学部
対象学年	学部2年 学部3年 学部4年
開講地区	箱崎地区
履修条件	
授業概要	<p>[授業の概要と方法]</p> <p>「日本の学校経営改革における論考をとらえる」</p> <p>2000年当時の地方分権施策が始まって10年になる。そこで学校経営・教育行政改革としての学校力構築、及び教育委員会力、教育課程改革、教員養成・採用・免許制度改革、学校評価改革、教員評価制度改革、子どもをめぐる危機管理問題等について、関連論文（学会誌・大学紀要）、新聞記事等を活用しつつ、受講者相互の発表。次回の授業に向けた課題を宿題として提示する。学校公開週間期間（11月上旬）に学校見学をする。</p>
全体の教育目標	<p>[授業の到達目標]</p> <p>日本とアメリカの現代学校経営改革に焦点をあてる。学校力を高めるためのファクター（要因）、例えば人（教員、子ども）、組織、マネジメント、カリキュラム、家庭・地域との連携、行政機関の施策と学校危機支援、教員制度の役割、課題について論点を把握し、論理的・分析的能力を高めることを本授業の目標とする。</p>
個別の学習目標	
授業計画	<p>第1回(10月2日)</p> <p>オリエンテーション。近年の「学校経営改革」に関わる状況として、地方分権下での教育行政、教育委員会の役割・課題、学校での実践の戦略を探る。福岡市の教育施策からとらえる。</p> <p>第2回(10月9日)</p> <p>第1回の課題についての討論をふまえ、学校経営改革について論点をとらえ、発表する。 (I)</p> <p>第3 - 4回(10月16日、23日)</p> <p>第2回に続く (.)</p> <p>第5回(10月30日)</p> <p>「学校評価」に関する学術論文を通して、論点をとらえる。</p> <p>第6 - 7回(11月上・中旬)</p> <p>学校公開週間に学校訪問を行い、取材レポートを作成する。</p> <p>第8回(11月20日)</p> <p>第6 - 7回についての意見交換。</p> <p>第9回(11月27日)</p> <p>「学校・家庭・地域との連携」についての実践研究論文を通して論点をとらえる。</p> <p>第10回(12月4日)</p> <p>「危機管理」、「情報管理」について、予防・対応等の視点から討議し、有効な視座を探る。</p> <p>第11 - 12回(12月11日、18日)</p> <p>「アメリカの学校改革を探るーチャータースクールの展望、初等・中等教育改革」を探り、外国論文の読解方法などを学ぶ。</p> <p>第13回(1月8日)</p> <p>「教員評価」に関する学術論文を読み、調査方法を探る。</p> <p>第14回(1月22日)</p> <p>「教育行政評価」に関する学術論文を読み、論理的構成力、文献活用力を高める。</p> <p>第15回(1月29日)</p> <p>第14回までの総括（内容の深化と学校改革の再検討）</p>

	学校経営改革、危機管理、論文構想、研究方法 各自毎回課題を復習・予習、レポート・発表重視
キーワード	
授業の進め方	八尾坂修『学校改革の課題とリーダーの挑戦』ぎょうせい、2008年。
テキスト	適宜関連資料や論文を配布。
参考書	yaosaka.osamu.812@m.kyushu-u.ac.jp 積極的な授業への参加度（事前の学習準備状況、発表を含む）、およびレポート等によって評価をしま
学習相談	
試験/成績評価の方法等	
その他	